

# みんなの 町議会

 神石高原町



いずみ保育所運動会

第 36 号

平成25年10月15日

■24年度決算	2
■あなたの声を町政に	7
■こんなことが決まったよ	17
■元気なグループ紹介	18

# 黒字決算

前年度比1.9% (2億0040万円) の増  
前年度比0.5% (8285万円) の増

## 9月定例会

9月定例会は、9月3日から20日まで開かれました。今回の定例会では、平成24年度一般会計ほか、各特別会計並びに病院事業会計の決算を含む10会計すべてを認定しました。

また平成25年度一般会計・各特別会計・病院事業会計補正予算および町立病院の指定管理者の指定など22議案を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問では、9人の議員が町政への取り組みなど、課題をただしました。

## 決算

神石小学校建設事業費  
やすらぎ苑施設改修費  
などへ支出

## 一般会計

平成24年度は、神石小学校建設事業、豊松小学校耐震改修事業、統合中学校建設事業、やすらぎ苑改修などにより増額になっているが、町債、繰入金、繰越金などの増加で、単年度収支は1億5135万円、実質収支は6億2958万円の黒字になっている。

## 歳入

歳入総額を前年度(23年度)と比較すると2億7767万円の増加となりました。

自主財源の主たる町税は、前年度より1346万円(1.3%)減額であるが、自動車取得税が2018万円

## 歳出

(0.7%)増額となっている。依存財源の主たる地方交付税は、6627万円(1.1%)減額であるが、町債は、3億1150万円(32.6%)繰入金5376万円(13.6%)繰越金3078万円(10.2%)の増加でした。

歳出総額を前年度と比較すると2億0040万円(1.9%)の増加となっています。

内訳を前年度と比較すると、義務的経費が2億5761万円(6.1%)の減少となっていますが、投資的経費が4億9181万円(33.5%)の増加となっています。



神石小学校・校舎

# 全会計を

一般会計歳出

109億6828万円

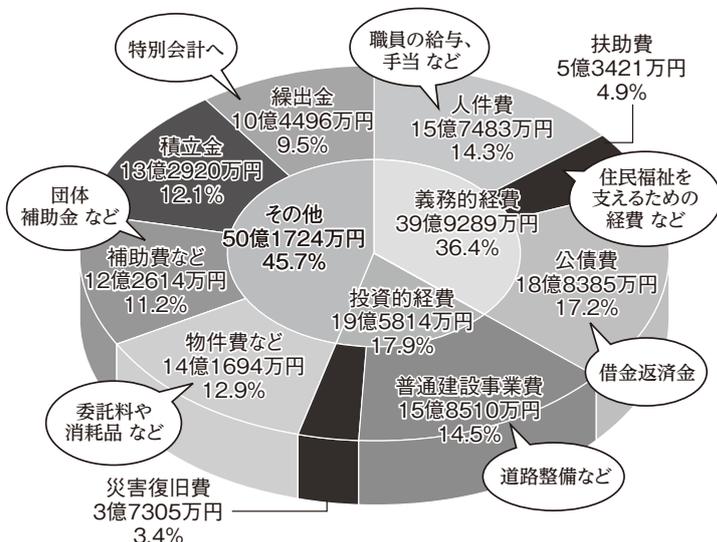
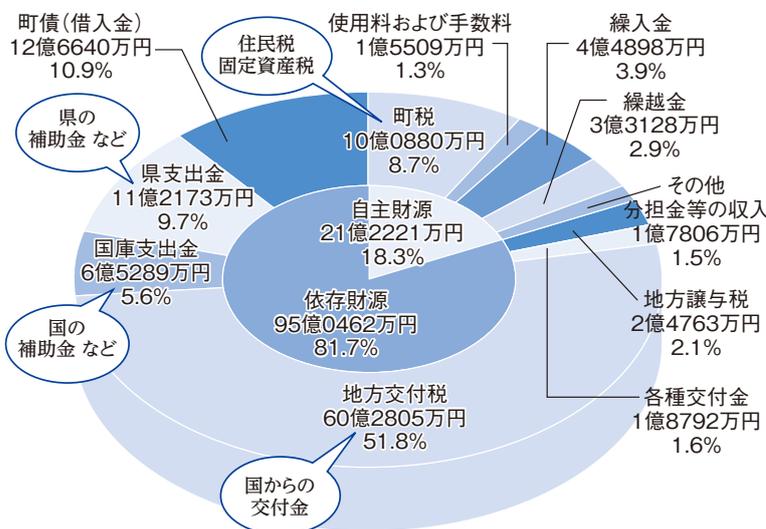
特別会計など含む歳出総額

152億0219万円

## 平成24年度一般会計決算比較表

歳入 合計：116億2684万円

歳出 合計：109億6828万円



## 会計別決算総括表

単位：万円・%（四捨五入）

会計名	H24年度	H23年度	比較		
	歳出決算額	歳出決算額	増減額	前年比	
一般会計	109億6828	107億6788	2億0040	1.9	
特別会計	国民健康保険特別会計	11億3747	11億4621	▲875	▲0.8
	内 事業勘定	11億3383	11億4297	▲914	▲0.8
	診療施設勘定	364	325	39	12.0
	後期高齢者医療特別会計	3億9240	3億7815	1425	3.8
	介護保険特別会計	18億5810	18億2378	3423	1.9
	内 保険事業勘定	18億4364	18億0842	3523	1.9
	介護サービス事業勘定	1446	1546	▲100	▲6.5
	簡易水道事業特別会計	3億2356	4億6288	▲1億3931	▲30.1
	飲料水供給施設事業特別会計	3017	341	▲384	▲11.3
	農業集落排水事業特別会計	2億4234	2億3773	461	1.9
	分収育林事業特別会計	3	240	▲237	▲98.7
	総合開発事業特別会計	3446	8989	▲5543	▲61.7
計	40億1853	4億7514	▲1561	▲3.8	
病院事業会計	2億1537	1億7631	3906	22.2	
合計	152億0219	151億1934	8285	0.50	

平成24年度決算審査意見書(抜粋)

監査委員 岡崎 武志  
監査委員 寄定 秀幸

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は関係法令に準拠して作成されており、その係数は関係諸帳簿、その他証書類と照合した結果、正確に処理されているものと認められた。

「夢と創造」をキーワードに多様な施策に取り組み、概ね所期の目的は達成された。

本町の未来創造の基盤を整備する予算として、ソフト事業を中心とした、よきめ細やかな予算編成の事務・事業が概ね計画どおり執行され、一般会計及び各特別会計とも黒字決算である。

滞納は、平成21年度、22年度、23年度と関係職員の努力もあって改善されてきた。

今後、経済動向等の悪化により

新規滞納者の増も危惧され、税等の徴収は行政の根幹をなす極めて重要な業務であることを認識され、引き続き収納率向上と滞納額の削減に努められたい。

実質公債費比率は、昨年度よりさらに2ポイント改善し13%となった。公債費負担適正化計画の平成24年度18%未満に抑制するという目標を大きく上回った事は高く評価される。

地方交付税にかかる合併算定替の適用期間も考慮され、引き続き経常経費の抑制、無駄の排除、節約の徹底を期されたい。

基金管理は適正になされている。基金の運用については、社会経済情勢の急激な変化も想定されることから、ペイオフ対策なども視野に入れて検討されたい。

どう使われたの？

24年度決算特別委員会審議の主な質疑

総務課

橋本議員 遊休財産の処分方針は。

総務課長 地元と協議し

速やかな対応を検討する。

片山議員 民間は決算主義だが、町の決算方

法は。

総務課長 本町は、予算主義で、予算編成は、前

年度決算の状況を確認して編成している。

松本議員 今後の予算編成の課題は。

総務課長 交付税の見直しによつては不透明だ。

基金と繰越金の充当を考

片山議員 財政力指数が低いが今後の対応

は。

総務課長 増加はわが町

では難しい。いかに事業を取り組むかと歳出の削減をしていく。

住民課

片山議員 徴収嘱託員とアドバイザーが配置

されているが、職員での対応はできないのか。

副町長 職員は3年で移動するのでベースを嘱託員とアドバイザーで対応する。

横尾議員 使用料などの滞納があるが、他の課との連携は。

住民課長 関係機関との連携と情報交換をしている。

福祉課

久保田議員 生活支援型ホームヘルプ事業は、

介護保険認定前の世帯を

対象の事業だが、社協やシルバー人材センターとのサービスが競合するが、統合したらどうか。

福祉課長 統合の可能性を検討したい。

横山議員 来見・小

島保育所の土曜日の午後保育ができないか。

副町長 その方向で検討している。

まちづくり推進課

橋本議員 空家バンクの利用者のニーズは。

係長 現在登録は16件である。

ニーズは、家は大きくなく自給できる農地がある物件が求められている。現在65歳以上が50%である。

赤木議員 ブライダルセンターの女性の登録



郡共進会 審査風景

が6名だが、拡大の方法は。

まちづくり推進課長 制度の周知徹底がなされていないなど、なかなか難しい。登録に向けて鋭意努力する。

**久保田議員** ブライダル関連事業の実績と町内定住は。

まちづくり推進課長 町内2組と町外1組。定住の追跡調査はしていない。

**赤木議員** 緊急雇用対策事業で目標が6事業所8人とあるが、実績は。まちづくり推進課長 9事業所20人の雇用創出ができた。

**松本議員** 6次産業化の実績と成果は。

課長補佐 商品化に至っていない。昨年度6回の研修会を開催。平成25年度はパッケージ変更にも取り組む。

**保健課**

**片山議員** 子宮頸がんワクチンを全国で先駆けて行ったが、今後の対応は。

保健課長 積極的な勧奨は行わない。

**松本議員** 町立病院の入院患者の減少の理由は。

保健課長 利用者が町内の方がほとんどのため、人口減少も原因。

**環境衛生課**

**松本議員** 犬・猫の殺処分ゼロはすばらしい方策。委託料の基準は。

環境衛生課長 補助金に馴染まないので必要経費を委託料とした。

**藤田議員** し尿処理場は民間だと利益追求となり、問題が出る可能性がある。今後とも行政で管理してほしい。

副町長 新たな施設は困難。今ある施設を大切に、行政で管理する。

**生涯学習課**

**松本議員** 町立図書館の子ども司書の内容は。

生涯学習課長 小学5・6年生が対象。2名を受け入れている。校内での読書PRや本に親しむための活動をおこなう。

**松本議員** 公民館の特徴ある活動は。

生涯学習課長 年数回の館長会議で調整連携をはかる。特色ある活動を実施したり検討もしている。

**学校教育課**

**橋本議員** 学習支援員の配置目的は、子どもの教育が学校運営のどちらに重点を置いているのか。

調整監 支援員を配置することで、学習についての細やかな指導ができ、学習の効率が高まることにより、学校運営の安定につながる。

**久保田議員** 学校給食での地元産食材の割合は。

教育課長 米は100%、年3回は地元産の牛肉・豚肉を使用。今後でもできるだけ地元の食材を使用したい。



成人式 アトラクション

産業課

小川議員 百彩館の

駐車場拡大の効果は。

産業課長 イベントに活用でき、大型バスが駐車できるようになった。

建設課

丸山議員 生活道等

整備助成事業とは。

建設課長 生活道の舗装

工事に補助するものでア  
スファルト舗装が130  
0円/m<sup>2</sup>、コンクリート  
舗装1100円/m<sup>2</sup>。

村上議員 建設業の

新分野への補助事業はな

いのか。

副町長 調査して情報提

供する。



百彩館 駐車場

# 決算特別委員会 委員長報告

委員長 藤田 晃己

9月3日に提出され、本委員会に審査を付

託された「平成24年度神石高原町一般会計歳入歳出決算認定について」、「平成24年度神石高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」ほか7特別会計及び「平成24年度神石高原町病院事業会計剰余金の処分及び決算認定について」の10件にわたり、9月9日から9月12日の4日間、町長をはじめ関係課長などの出席を求め、決算書及び成果に関する報告書などにに基づき詳細な説明を求めるとともに、必要な資料などの提出を求め、審査しました。

審査の結果、本件については、原案どおり全会一致で、認定するものと決定した。

決算全般ついて、審査の過程で、各委員から指摘された事項のうち、本委員会として集約した意見・指摘内容は次のとおりである。

## ① 決算概要

実質収支については、全会計黒字決算。さらに繰上償還などの実施により、実質公債費比率は13%となり、年々改善されている。しかし財政力指数は県下で極めて低位に位置し、さらに財政力は低下傾向にある。引き続き執行者側の大胆な英断と広範な英

知が結集した施策を強く望む。

## ② 町税、使用料及び手数料などの収納実績

県下ではトップ水準にあり、嘱託員の設置などを含めて関係職員の努力が認められるが、昨年と比べると収納率の低下と滞納率の増加が見られる。引き続き使用料を含め滞納対策に努めることを強く望む。

## ③ 町民の生活交通確保対策

それぞれの関係所管課の行政目的で実施しているようだが、施策、路線によって極端に効率の悪いものが見受けられる。連携を図り、効率的で住民のニーズに合った施策となるよう検討を望む。

## ④ 公共施設や事業における指定管理を含む委託料

施設・事業の要・不要も含めて、詳細な精査と委託基準を明確にした委託料の積算をすよう強く望む。

## ⑤ 町立病院の運営

開設からの5年間で精査され、本町の実態、利用者の実情に即した医療体制について十分なる検討のうえ、指定管理者との連携を密にし、医療の充実に努められることを強く望む。

# あなたの声を町政に

質問時間は、答弁を合わせて一人二時間以内で一問一答方式

**問** 協定書は実行されているのか

**答** 常勤外科医が確保出来ていない



横尾 正文 議員

**Q** 5年目になる指定管理者制度による協定書の中で、契約内容が満たされていない項目があるのか。

**A** またその結果による今後の対策は。

**町長** 契約はおおむね履行されている。強いて言えば外科と整形外科の常勤の医師が確保されていない。

反対に脳神経外科など非常勤ではあるが、診療科が2科目増えている。また認知症対策など新しい事業も開始している。

今後の対策は、外科医などの常勤医の確保と病院としての質の向上、さらに経費節減を要請していく。

**Q** 6月の定例会で要望した補助団体や委託団体の実績の調査結果を伺う。



神石小学校 鼓笛隊

**町長** また調査結果をどのように来年度予算に反映させるのか。

斎場やすらぎ苑に関しては、施設代行の清掃や維持管理業務の追加すべきものがある。

クリーンセンター神石についてはごみ処理業務と収集業務を中心に調査した。調査の結果、業務内容を実態に合った委託

契約になるように努める。

新年度予算の編成に当たっては過去2、3年の実績をもとに算定していきたい。

**Q** 今回の実績の精査によって、具体的にどの程度の変更が予想されるのか数字で示していたきたい。

**町長** やすらぎ苑に関しては積算より業務内容が多いと思われる。またクリーンセンター神石は余裕のある積算と思われる。

**町長** 計画していた業務でなくなったものだけを見ると5%〜10%積算がおちる。ただ付け加えなければならぬ業務があるので今後検討する。

**環境衛生課長**

環境衛生課長

**問** ふるさとふれあい事業の今後は

**答** 継続をする



橋本 輝久 議員

**Q** 「人と自然が輝く高原のまち」をめざし、個性と創造に満ちたまちづくりとして、平成16年から10年間におよび事業展開してきた。各事業の実績は、地域に活力を与えているものであり効果が表れている。

**町長** 来年度以降の方向性は。また、「ふるさとふれあい事業」「人と自然が輝く事業」などの見直しを図り、引き続きソフト事業を積極的に推進し進めるとのことだが、具体的にどう考えているのか。

**町長** ふるさとふれあい事業は、各地域の特性をふまえた地域づくりの施策をすすめてきた。合併から10年目を迎えた。25年度以降、もう一つ自助、公助、共助の精神を加え、基本的にはこの事業を継続する。主に協働のまちづくり



全日本荷車引きレース(豊松フェスティバル)

を進めるための活動に充当したいと検討している。

また、自治振興会の補助金の在り方、集落支援員制度や地域づくり計画の進行状況などをふまえて総合的に判断したい。

**Q** ふるさとふれあい事業の補助金の決定は、どのようにされたのか。

また、今後どのような予算措置をするのか。

**A** 町長 合併当初総額1億円を4地区で等分し、2年続いたが、財政上段階的に減少してきた。現在

では総額1200万円である。

また自治振興会の補助金は約4000万円だ。これから、町民一体となって協働の町づくりをしていきたい。

**Q** ふれあい事業費と自治振興会補助金の減額はあるのか。

**A** 町長 ふれあい事業費は、基本的には考えてないが、振興会の補助金を含め、金額や具体的な運用方法など担当課で検討中である。



久保田 龍泉 議員

## 問 通学バスコースの見直し結果は

答 10分程度短縮する

**Q** 統合中学校の通学バスコースについて50分かかるコースの見直しを求めたが、その結果はどうなったか。

**A** 教育長

入寮調査をし、バス利用が確定した。永野―相渡―高光コースは冬期以外は、広域農道を通り、冬期は牧油木線を通るが、これにより10分程度短縮する。一部生徒の通学時間が長いので、別ルートでの変更を検討している。古川―牧―草木コースは、バス希望が変更となり10分程度の短縮となる。9月に運行委員会を開き、短時間で安全なコースを走るようにしたい。

**Q** 保護者への説明はいつされるか。

**A** 教育長 10月から11月おこなう。

**Q** 職員採用は一般職だけでなく、福祉・土木・農業部門の専門職の採用はされないか。

**A** 町長 3名の福祉専門職を採用した。近年は、技術職員の採用はない。建設課の専門部分は業者委託しており、採用しても仕事がなく人事の硬直化を招く。

**Q** 農業委員会事務局職員の異動が早すぎるなどの指摘がある。新年度

の課題として、農業委員会に限らず他の部署での短期の異動は避けるべきだ。

**A** 町長

合併以来、事務局職員は6人替えた。結果的に異動が早かったと反省している。今後はそういうことのないようにしたい。



産業課内

## 問 胃ガン対策ピロリ菌検査導入を

## 答 将来的に検討する



寄定 秀幸 議員

**Q** ピロリ菌は、胃ガンの危険因子であるとされ除菌が奨励されている。今年2月21日にピロリ菌の除菌における保険適用が慢性胃炎まで拡大され、胃ガン予防に道を開き胃ガン撲滅の大きな一歩となった。これからは、まずピロリ菌の有無を調べ、陽性ならば内視鏡検査やレントゲン検査を受けるシステム（リスク検査）に変わる可能性がある。胃ガンの早期発見・早期治療のため、総合検診にピロリ菌検査（血液検査）を導入すべきでは。

**A** 町長  
見・早期治療のため、総合検診にピロリ菌検査（血液検査）を導入すべきでは。時間と費用がかかり、集団健診に適さないので実施しない。

**Q** 血液検査はレントゲン検査に比べ早期ガンの発見率が高く、簡便な検査でレントゲン検査の4分の1〜10分の1の費用で済むとの試算もある。



神龍湖

**A** 町長  
胃ガンの早期発見・早期治療のため、ピロリ菌検査（血液検査）の導入を検討すべきだ。今は実施しないが将来的に検討する。

**Q** ①国定公園帝釈峡の観光振興策である中山間地域観光振興支援事業の推進状況とその課題は。②遊歩道復旧への展望と対応は。③落石・倒木・景観支障木撤去などへの取り組みは。④神龍湖のゴミ対策や水質改善への取り組みは。

**A** 町長  
①庄原市との連携が課題である。民間レベルでの取り組みを担う新会社の設立準備中である。②遊歩道復旧は財政的に困難であり、上帝釈峡との連絡は小型船・水陸両用車など検討中。③国定公園なので県と連携を強化し、より具体的に取り組む。④産学官連携事業での広島大学の研究結果に基づき水質改善に取り組む。

## 問 町立病院の規模・運営は

## 答 建て替えも含め検討する



松本 彰夫 議員

**Q** 病院協議会への諮問が遅かったが、最初から指定管理者を継続する方針だったのか。

**A** 町長  
24年度中にはできなかったが、特段遅かったとは思っていない。

**Q** 陽正会は5年間の指定管理について、外科医・整形外科医の常勤医師が確保できなかったことなど、どのように総括しているのか。

**A** 町長  
3年目終了時の総括を踏まえ、今回総括するよう要請している。

**Q** 協議会の答申では、外科医・整形外科医の配置、看取りが行われるよう常勤医師の増加が必要などと答申されているが、今後の病院運営にどのように反映させるのか。

**A** 町長  
今回の答申は両論併記であり、より良い方向を検討したい。



保健課内

**Q** 病院の規模・耐震性への対応は。

**A** 町長 耐震の2次診断を行い、建て替えも含めた検討をし、規模・病床数並びに機能について考えた。

**Q** 病診連携、福祉施設との連携は。

**A** 保健課長 現場での連携は、県内でも例がないほど良く出来ていると評価されているが、より充実を図りたい。

**Q** 地元の診療所からの紹介も少ないし、訪問看護についても町立病院からの指示書は少ないと聞か、この実態からみて良くできていると言えるのか。

**A** 保健課長 診療所からの紹介は色々あるが、町立病院への紹介は少ない。今後、2診療所とも協力すると言われている。また、介護施設と町立病院・行政が情報を共有して対応していく。

**問** 本町農業を維持するための、地域農業のマスタープランは

**答** 今後は制度を利用したい



村上 克朗 議員

**Q** 本町でも高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などで赤と黒の政策だけでは、地域農業の5年後の展望が描けない集落地域が多数ある。

**A** 町長 国には平成24年度、青年就農給付金・農業の雇用事業の受給などの施策がある。国庫補助金の利用はどのような状況か伺う。

**A** 町長 農水省の進めている人・農地プランはそれぞれの地域の担い手を明確にして、その担い手へ農地を集積し、その地域や農地を守るものである。昨年度、父木野地区の3農家で耕地管理できない農地を集積している。この制度に似た新規就農者支援事業で9名が定住している。今後は国庫補助金制度を利用したい。

**Q** 地域農業のマスタープランは、話し合いに基づく合意形成活動を行い、農業の体質強化を図る地域づくり計画や、未来創造支援事業・新規就農者支援事業などと連

**携が** できるのか。

**A** 産業課長

昨年度は5地区で説明会を開き、地域農業で誰を担い手とするのか、いなければ農業法人や新規就農者に来てもらい支援してもらう話し合いをした。担い手は年間150万円の支援金がある。

**Q** 県道改良(木割谷小吹線)における用地問題は町の権限外であるが、未改良区について地元関係者との協議状況は。

**A** 町長

用地関係者が多く、相続問題がある。計画の中断がないように、東側に向けて進めている。

**Q** 巨大盛土区間の路線を早期に計画し、整備の促進を。

**A** 町長 期成同盟会で県へ陳情を検討している。



稲刈り風景



赤木 俊二 議員

### 問 保護者への通学ルートの説明は

### 答 情報提供に努める

**Q** 神石高原中学校の通学ルートに関して、当初の説明で大まかな内容の連絡はあったものの、こういった状況がはつきりしない。現在は中学生と小学生、保育所の生徒と一緒に乗って来ている地域もあるが、これはどうなるのか。学校側やスクールバス運行委員会との協議や、保護者に対する説明はどうなっているのか。



スクールバスでの登校風景(油木小学校)

**A** 教育長  
統合中学校通学バス運行について、基本的な考え方と基本ルートを説明している。今月中に設置する運行委員会で詳細を十分協議し説明する。小学校は大きなルート変更はない。新学期の通学方法の届出を受けて、運行委員会と協議して詳細を決定したい。

**A** 教育長  
スケジュールがわからないということ、情報の公開がないということであろう。これから情報提供に努めていきたい。小学校と中学校の連携が必要なので、今後小学校の校長にも参加させたい。

**Q** 開校が半年先に迫っているのに、保護者はスケジュールがはつきりしていないことに不安を感じている。地域からの意見を反映した今後の対応は。

**A** 学校教育課長  
5月の運行委員会では9月頃、各学区ごとの運行委員会を立ち上げたといと伝えており、代表委員の選定をお願いしている。運行委員会ではコースごとに代表を通じて説明していく。

**Q** 今月中に運行委員会を設置するというのは保護者に伝えてあるのか。

### 問 子宮頸がんワクチンの今後の対応は

### 答 積極的な勧奨はしない



横山 素子 議員

**Q** 全国ではたくさん健康被害が出ている。実際、千葉県野田市では、ワクチン接種を一時見合わせると発表しているが本町も被害者を出さないためにも、このような決断が必要ではないか。

**A** 保健課長  
現時点で、行政側から副反応について説明する事は考えていない。

**Q** ワクチンに対する正しい知識を接種対象者や保護者に説明すること、重篤な副反応が起り得る事を周知徹底することが必要と思うが、今後説明する予定はあるのか。

**Q** 厚労省は子宮頸がんワクチンを積極的に勧奨しないと発表したのが、今後町としてはどのような対応を考えているのか。

**A** 町長  
本町においても積極的勧奨はしない。今のところ健康被害も出ていない。

**A** 保健課長  
本町でも接種の申し込みがあれば、副反応がおきている事を説明したうえで最終的な判断は接種者にしていただく。

**Q** 統合中学校の建設現場付近の小学校通学路の安全対策は。

**A** 教育長  
建設期間中、特に通学時間中は施工業者に注意するよう指導をしている。交差点は看板設置して安全確保を行っている。

**Q** 通学路の白線がほとんど消えているので早急に改善して欲しい。

**A** 教育長  
横断歩道なども含めて対応する。

**Q** 西油木ライスセンターの粉じんの調査はどのように行う予定か。

**A** 教育長  
はしかは、一般粉じんで健康被害のないものと認識しているが、飛散しているのは事実なので、今後目視や聞き取り調査をする。



油木小学校集団下校

## 問 決算分析と施策への反映は

## 答 財政健全化を図り定住促進策を進める



妹尾 幸太郎 議員

**Q** 今までの財政運営の成果と課題は。

**A** 町長  
町の存続安定化と合併経過を踏まえ、財政基盤の立て直しが命題と考え、新町建設計画の見直し、公債費負担適正化計画、定員適正化計画をたてて行財政改革を実行した。2期目に入り、成果が現れはじめたが、財政危機はいまだ続いており、柔軟性のある状況はないと認識している。

**Q** 積立金現在高、実質公債費比率、経常収支比率、歳出の目的別、性質別などの決算分析を踏まえた中長期的な財政運営を行っているか。

**A** 総務課長  
予算編成会議など、機会あるごとに財政状況を職員に説明し、一定の理解はしているが、今後さらに課題を共有できるように努めたい。

**Q** 3つの過剰を早急に解消し、重要課題に



総務課内

**は。** 集中的な施策展開をして

**A** 町長  
財政健全化はあくまで手段であり目的ではない。大胆な政策実行は必要であり、その時期を見誤らないことが町長判断と考えている。

そのためにも、3つの過剰の解消に努めたい。さらに定住促進に向けていべき姿を明確にしていきたい。現在定住を目的の第一として、トマト団地構想や、農村基盤の整備を検討している。福祉の充実も必要。さらに、里山をうまく使えば中山間地域のトップランナーになれる可能性があると考えている。

**Q** 町立病院の運営に町民の意向が反映できるように、町と指定管理者が意見交換できる場を設けては。

**A** 町長  
提案の趣旨は理解するが、指定管理者の調整も必要であり、現時点で直ちには困難である。

9月補正予算質疑

まちづくり推進課

有線施設電柱撤去完了

**小川議員** 三和地区有線放送施設の電柱撤去は、この補正予算により全て撤去できるのか。

まちづくり推進課長 決算説明の際には説明していないが、この補正予算により、昨年度の積み残し部分を全て撤去し完了する。

建設課

町道維持修繕に4000万円

**橋本議員** 町道維持修繕費として各地区に1千万円配分されているが、どのような修繕に充てるのか。

建設課長 主に町道の舗装がかなり傷んでおり修繕する。

**橋本議員** 修繕箇所  
の認定は誰が行うのか。またすでに認定しているのか。

建設課長 各支所で行う。町道パトロールなどで、把握できているものもあるが、自治振興会にも相談しながら確定する。

教育委員会

スクールバス2台購入

**橋本議員** スクールバス2台を購入予定だが、車両管理はどこが行うのか。

教育課長 スクールバスの運行と管理は業務委託で考えている。



町立病院

**橋本議員** 屋根つきの車庫が必要だが、車両保管場所はどこか。

教育課長 業務委託先と考えている。

福祉課

保育所指定管理  
保護者の不安解消

**横山議員** 保護者説明会では、保護者の方からたくさん不安、不満、要望があるようだが、今

後この不安が払しょくできるよう、説明会を多く開いてほしいが、その計画はあるのか。

福祉課長 なるべく多くの説明会を開きたいと思っている。

保健課

町立病院耐震調査

**松本議員** 病院の耐震調査、空調改修調査費の補正予算が出ているが、新聞報道では、大規模改築が決まったようになっている。事実であれば、改築に合わせて、空調改修すれば良いのでは。

副町長 大規模改築が必要となれば、診療科など今後の病院の在り方を含めて検討する必要がある、耐震調査の結果を見て、検討したい。

**藤田議員** 耐震調査の結果をみて、空調施設的设计調査を検討すればよいのでは。

副町長 大規模改築が必要ならば、空調施設的设计調査は実施しない方針である。

**松本議員** 認知症力  
フエの具体的な運営内容は。

保健課長 「脳いきいき教室」の修了者などを対象として、小畠交流会館で月2回程度行いたい。9月下旬からの開始になる。

**松本議員** 場所は固  
定するのか。

保健課長 各地区で順次



とよまつ保育所

整備を行っていききたい。

**久保田議員** 認知症の人や家族は、介護施設併設の方がよいのでは。

**保健課長** 対象者などの意見を聞き場所を選定しており、一定の利用はありと考えている。

**産業課**

地籍調査事業費の不用額は

**赤木議員** 地籍調査事業で2500万円ほど不用額となっているが、過度の抑制では。

**産業課長** 適切な入札によって金額を決定しており執行を抑制したのではない。

## 9月補正予算内訳表

### ○一般会計

補正予算額 6億5163万4千円 補正後予算額 103億2300万5千円

単位：万円（四捨五入）

費目	補正予算額	補正後予算額	主な内容
議会費	△120	8568	議員および職員人件費
総務費	337	14億5600	町長等特別職および職員人件費△1060 情報通信基盤整備800
民生費	△85	17億6328	職員人件費△1059 生活保護費512
衛生費	779	9億8786	職員人件費△367 病院事業会計補助経費8086
農林水産費	△909	7億7705	職員人件費△299 地籍調査事業△2510
商工費	△46	1億0878	職員人件費△46
土木費	4935	6億6614	町道路維持補修経費4880
消防費	△292	4億2209	常備消防経費292
教育費	92	9億9277	教育長特別職および職員人件費△320
災害復旧費	7824	7827	現年発生道路橋梁災害復旧費5939
公債費	1億7423	19億2125	長期債元金繰上げ償還経費1億7423
諸支出費	3億5226	10億2384	財政調整基金積立経費2億5089 重点公共施設新設整備基金1億円
予備費	0	4000	
<b>合計</b>	<b>6億5163</b>	<b>103億2301</b>	

### 補正予算の財源

地方交付税3億8087万円、国庫支出金3090万円、県支出金265万円、財産収入7776万円、繰入金2418万円、繰越金3255万円、諸収入662万円、町債1億6600万円などを財源としている。

議員賛否表

		木野山議長	小川清治	片山元八郎	藤田晃己	村上克朗	松本彰夫	丸山達夫	寄定秀幸	久保田龍泉	橋本輝久	横尾正文	妹尾幸太郎	横山素子	赤木俊二
決算認定	一般会計	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別会計 病院事業会計	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月補正	一般会計	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別会計 病院事業会計	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例・改定	子ども子育て会議設置	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	農業委員会の定数	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請負契約	時安線	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	統合中学校建設	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理	保育所	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	町立病院	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第18回  
議会クイズ  
当選者

神石地区 横山寿恵さん  
神石地区 山本信子さん  
三和地区 川上龍馬さん

豊松地区 大坂忠樹さん  
油木地区 川上信子さん

まちの声

多数のご意見ありがとうございました。  
ご意見にお答えします。

○業務に差し支えないならば地元の人を職員として優先すべきと思つ。また、熊予防の鈴配布を願います。

(67才 女性)

○法的に難しいですが、採用されたら、できるだけ地元へ住み続けて頂きたい。

○子どもにも高齢者にも住みよい町づくりに努力して下さる議員さんに、感謝しております。

(89才 女性)

○ありがとうございます。今後も努力していきます。

○一般質問は、ケーブルテレビで視聴できます

が、議会だよりは続けて発行して下さい。

(男性)

○皆様に読みやすい広報誌づくりに励みます。

○議会だよりは毎号期待しつつ読ませて頂いています。議会はどうしても閉ざされたイメージがありますが、議員さんの質問や日々の活動などよくわかってとてもオープンなイメージをもてるようになりました。これからも議員の皆様、頑張ってください。

(59才 女性)

○住民の皆様のご指導を頂きながら、頑張っていきます。

総務 文教常任委員会

報告

日 時

9月18日

現地調査

神石高原中学校  
建設現場

神石高原中学校建設状況は、平成26年3月20日の完成に向け計画より2週間程度進んでいる。現在校舎一階部分のコンクリート工の施行中であり、寄宿舎については、



統合中学校 建設現場

上屋に入る段階である。全国的に人手不足が言われている中、人員（職人）確保が課題である。計画にそって配置し、工程に影響をおよぼさないよう要請した。また施行が冬季にかかることから、品質低下、出来ばえ、そして遅れないよう全般にわたり管理し、早期の完成にと止めるよう強く要請した。

神石よつば会  
ゆき作業所



ゆき作業所 作業風景

通所される人たちの手当が月1万円足らずである。お茶、クッキー、土鈴など、商品が多種多様である。イベントなどで販売しているが、苦勞されている。クッキーについては、油木保育所におやつとして販売している。今後小学校にも提供できればと思っている。また、まだまだ整備していかねばならないものがある。冷凍庫、乾燥機など高額なものであるが、お願いした。地域の支援が不可欠である。

産業 建設常任委員会

報告

調査月日

9月18日

調査場所

神石高原町相度  
（株）帝釈峡スコラ

6月定例会に、第3セクターの決算報告書が提出され、第3セクターであるスコラ高原の現地調査を行いました。

調査内容

○担当課による収支・財産状況調査、一般管理費の推移、スコラ高原入り込み客の推移表による説明。

○現地にて、社長などによる会社の理念、行動指針、会社概要と平成25年度の目標などの説明。

○今後の課題

- ・営業活動の充実と体制の確立。リピーター増の営業戦略。
- ・指定管理の精査、積算資料の確認。
- ・観光行政として横の連携体制の整備。
- ・株主の協力体制を確立。



現地調査（スコラにて）

議員定数と報酬に関する

研究会の発足

議員全員で、定数および報酬などの調査、研究を行うことを目的に発足しました。平成27年12月には、方向性を決定する予定です。今後、住民皆様のご意見などお聞きしながら進めていきたいと思っています。

# 追跡 ありゃあどうなったん？

## 犬殺処分ゼロへの取り組みと仙養ヶ原ドッグラン



町では、平成24年7月から、NPO法人ピースウィングス・ジャパン災害救助犬訓練センター（仙養ヶ原ドッグラン）の協力を得て、犬の殺処分ゼロを目標とした取り組みを始めた。

「犬の一生は飼い主が責任を持つ」という原則ですが、高齢者の方が様々な事情で犬を飼えなくなり、動物愛護センターに引き渡すことや、犬を放置することによる野犬化を防止するための取り組みである。また仙養ドッグランでは、犬の保護と飼い主責任も追求するとともに、飼い方やマナー・モラルの向上のため支援もしている。

迷い犬や野犬を含む77頭を保護し、再譲渡や返還は33頭、今現在44頭の犬を保護している。今後も需要が見込まれるため約200頭収容の犬舎建設を計画中である。

町としては、犬猫の適正な飼養のために去勢・避妊の手術費用に対する助成金を交付している。

# 条例制定・改正 こんなことが決まったよ

### 指定管理

・保育所指定管理者

現在の保育所サービスを維持しながら、効果的・効率的な保育運営を行い、多様化する保育ニーズに即した保育の実現に努めるため

施設の名称

油木保育所

とよまつ保育所

指定管理者となる団体

社会福祉法人 東城有栖会

指定の期間

平成26年4月1日から5年間

・神石高原町立病院の指定管理

指定管理者となる団体

社会医療法人 陽正会

指定の期間

平成26年4月1日から5年間

### 条例

・神石高原町子ども・子育て会議設置条例

子ども・子育て支援法の規定に基づき、支援に関する施策を審議する会議を設置するため

・神石高原町農業委員の選挙による委員定数条例の一部改正

町内の投票区が再編されたことにより整合を図るため、3選挙区を2選挙区に改正した

### 工事請負契約の締結・変更

工事名

神石高原町立統合中学校付帯工事

請負者

鈴木工務店・村上建設共同企業体

請負金額

1億2915万円

### 財産の取得

種別

小型動力ポンプ積載車 3台

取得価格

2595・6万円

相手方

山本自動車工業株式会社

種別

通学バス

取得価格

29人乗りバス 2台  
1194・9万円

相手方

有限会社 神石ミニカー商会

# 元気なグループ紹介だよ



## 草木自治振興会 「草木若者強力支援隊」

私たち「草木若者強力支援隊」は、20代から40代の地元在住者と地元出身者による約30名で、今年2月に結成しました。

結成に至るきっかけは、昨年秋季の草木区民運動会の開催前に若者の声掛けによって10名のメンバーが集まり、運営企画・競技に積極的に取り組んだことです。地域の皆さんも多くの若者が「グラウンドを走る姿を久しぶりに見た」と、大変に喜んでいただきました。

今年8月の盆踊り大会では、強力支援隊のメンバーも踊りの練習に参加し、本番でも浴衣を着て輪の中心で積極的に踊りました。同時に、地元出身者への声掛けも行い200名を超える参加者が集い、大盛況の盆踊り大会となりました。

私たちの住む草木地域も高齢化が進み、耕作放棄地も年々増え続けています。そこで現在、私たちが取り組んでいるのは「ナマズ」の養殖です。油木高校の先生や生徒さんに養殖技術を学び、試食をかさね、水田であった耕作放棄地を改修した後、9月29日に550匹の稚魚の放流を行いました。

水田は大雨時の水害防止機能を果たし、自然の循環や連鎖を守る大事な役割を担ってきました。ナマズが耕作放棄地の救世主となれば!!との思いで活動しています。今後も地域のために頑張ります！

## 第19回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

1. 全会計を〇〇決算
  2. 一般質問 ふるさと〇〇〇〇事業の今後は
  3. 一般質問 スクールバス〇〇購入
  4. 一般質問 町立病院〇〇調査
  5. グループ紹介 草木若者〇〇支援隊
- 《ヒント》議会広報をよく読んでね。

### 《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、5人の方に1000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》〒720-1522

神石高原町小島二〇二五神石高原町議会事務局 「第19回議会クイズ係 宛」

《締め切り》11月11日(月) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

**議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は12月です**  
日程は告知放送などでお知らせします 一般質問はケーブルテレビ放送します

## 編集後記

道ばたにはコスモスの花が揺れ、秋らしい季節となり、あの猛暑を忘れてたような気がします。秋といえば、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋ですが、皆さんはどれですか。神石高原町でも、新米やピオーネなどの収穫の秋を迎えています。

また、スポーツといえば、7年後は東京オリンピックが開催される事になりました。「オリンピックに出たい」と夢を描く子ども達もたくさんいることでしょう。誰もが可能性はゼロではないので、夢に向かって頑張ってくださいと思います。(素子)

### 議会広報常任委員会

- 委員長 橋本 輝久
- 副委員長 横尾 正文
- 委員 妹尾幸太郎
- 委員 横山 素子
- 委員 赤木 俊二

■住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340

FAX 0847-85-4201